

令和4年度
事業報告書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

社会福祉法人 美光瑞園会

令和4年度事業報告書

I 法人運営

1. 令和4年度総括

はじめに、令和4年度事業計画による基本方針に基づき、ここに障害福祉サービス事業が無事に完遂をみるにいたったことについては、関係する全役職員の協力と理解あつてのこととその職務努力を労い合いたい。

改正社会福祉法の施行以来、継続して重点項目に掲げていたガバナンスの強化、運営の透明性の確保、財務規律の強化、地域における公益的な取り組み等々についても、社会福祉法人としての公益性と非営利性に準拠した運営の方向性を堅持しつつ、諸課題に対し着実に取り組みが進められたものと評価される。

一方では、キャリアパス要件の明示及び適正な人事評価の実施等、人材の確保と定着・育成に向けたWebを活用した取り組み、施設建物の老朽化への対応等、引き続き次年度への運営課題とされる事柄も少なくないが、今後共さらなる対応努力を続け、堅実で安定的な事業運営に向けて前進することが望まれる。

2. 理事会開催状況

開催日	審議内容	結果
令和4年5月7日	第1号議案 経営状況について	可決
	第2号議案 社会福祉法人等指導監査の結果について	可決
	第3号議案 諸規定変更について	可決
	第4号議案 評議員会の日時について	可決
	第5号議案 新評議員の推薦について	可決
	第6号議案 緊急特別手当（仮称）について	可決
	第7号議案 その他について	可決
令和4年6月11日	第1号議案 令和3年度現況報告書と事業報告書	可決
	第2号議案 令和3年度計算書類と財産目録	可決
	第3号議案 令和3年度決算監事報告について	可決
	第4号議案 社会福祉充実計画について	可決
	第5号議案 諸規定変更について	可決
	第6号議案 定時評議員会の招集について	可決
	第7号議案 新評議員の推薦について	可決
	第8号議案 その他について	可決

令和4年12月17日	第1号議案 令和4年度経営状況について 第2号議案 その他	可決 可決
令和5年2月18日	第1号議案 令和4年度拠点区分別補正予算について 第2号議案 諸規定変更について 第3号議案 評議員会の日時について 第4号議案 その他について	可決 可決 可決 可決
令和5年3月18日	第1号議案 令和5年度事業計画について 第2号議案 令和5年度 資金収支予算について 第3号議案 諸規定変更について 第4号議案 評議員会の日時について 第5号議案 その他について	可決 可決 可決 可決 可決

3. 評議員会開催状況

開催日	審議内容	結果
令和4年5月21日	第1号議案 経営状況について 第2号議案 社会福祉法人等指導監査の結果について 第3号議案 諸規定変更について 第4号議案 緊急特別手当（仮称）の規程について	可決 可決 可決 可決
令和4年6月25日	第1号議案 令和3年度現況報告書及び事業報告書 第2号議案 令和3年度計算書類と財産目録 第3号議案 令和3年度決算監事監査報告について 第4号議案 社会福祉充実計画について 第5号議案 諸規定変更について	可決 可決 可決 可決 可決
令和4年12月17日	第1号議案 令和4年度経営状況について	可決
令和5年2月25日	第1号議案 令和4年度拠点区分別補正予算について 第2号議案 諸規定変更について	可決 可決
令和5年3月25日	第1号議案 令和5年度事業計画について 第2号議案 令和5年度資金収支予算について	可決 可決

4. 内部監査結果

令和4年5月27日、法人監事による令和3年度決算関係諸表の監査を実施。

5. 人事管理

人事管理については、事業種全体では年度内において採用者数6人、退職者数11人であった。

事業別では、結果としては指定基準に定められる必要な職種の配置人員数を確保することができたが、女性職員の産休・育休による休職及び一身上の理由による退職者も複数名いたので、常勤換算上の職員数確保のため継続的な採用活動を実施した。

従業職員の人事処遇については、配置転換希望者への配慮や産休・育休取得及び時短労働の促進等、労働法令を遵守し従業環境の整備・向上を行った。

また、コロナウイルスの感染防止の観点から、研修は全てオンラインを使用し、職務スキル向上が出来るよう努めた。

6. 事業別職員配置状況（令和5年4月1日現在）

	常 勤		非常勤		計
	男	女	男	女	
障害者支援施設天心園	48	41	6	11	106
グループホーム天心園	4	3	0	17	24
就労支援センター天心園	7	4	0	5	16
計	59	48	6	33	146

II 障害者支援施設天心園

障害者支援施設天心園では、施設入所支援、生活介護、短期入所の指定障害福祉サービスを一体的に実施した。

利用率（稼働率）では、コロナ禍での外出・外泊の規制により、施設入所支援で前年度を上回ったが、全般としては下回る結果となった。理由としては、前年度の死亡等による退所者の増加に対して、コロナ禍により新規利用希望者の受け入れが困難な状況であったことによるものである。（退所者：5名、入所者7名）

また、3つの単位を設ける生活介護でも、生活介護1・2・3各々定員に対して前年度を下回る結果となった。

1. 利用状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

サービスの種類	定員	開所日数	延べ利用者数	平均利用者数
施設入所支援	150	365	48,473	132.8

短期入所	4	365	37	
生活介護 1	40	292	11,513	39.4
生活介護 2	40	292	10,583	36.3
生活介護 3	50	292	12,573	43.1

2. 利用者の入退所の状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

入所者 7人（内、GHから2人）

退所者 5人（内、病死による退所者3人）

3. 安全衛生に関する取り組み状況

安全で快適な職場づくりを目的とし、5S活動の推進、ストレスチェックの実施、職場改善アンケートの実施等、年間を通じた安全衛生活動への取り組みを続けた結果、大きな労働災害等の発生もなく無事に経過した。

ストレスチェックの本格実施を行い、メンタルヘルスケアを重点的に行うなど、取り組みの改善を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、関係資料の掲示や注意喚起、対応マニュアル作成など行った。

各種ハラスメントの防止対策として、職員全体への周知及び情報提供を行い、相談窓口を設置した。

4. 防災対策に関する取り組み状況

火災・台風等の災害の発生に備えた防災設備の保全及び安全環境の整備に努めると共に各種の防災訓練を実施した。

III 就労支援センター天心園

就労支援センター天心園では、造園（造園・菜園・公園ごみ回収）、自転車リサイクル班、パン製造販売班の3つの作業を中心に、利用者へのサービスを実施した。

未だ定員を満たす利用者数には至っていない。また、現在数は32名と前年度と変わりはないが、週1～3回程度の利用しかできない方が数名いるため、若干の事業収入減となった。作業による売り上げの増加については、地域のイベントがコロナ感染対策前（イベント参加数67）ほどではないが、33のイベントでパンの販売ができたことが大きい。

今後については、利用人数の増加を促し、さらに、在宅者を含め、新規利用契約者の受入れを強化していく必要がある。

体験や実習受け入れに関しては、新型コロナウイルス感染対策をしながら、14名の受け入れを行った。

1. 利用者の入退所の状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

新規利用者 2人（内、在宅2人）

退所利用者 4人（内、在宅1人、GH3人）

退所の理由としては、高齢や怪我により地域生活や働くことが難しく施設入所した方や働く気持ちがなく、地域生活にも問題があり入院、となっている。

2. サービス利用状況

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
就労継続支援B型	定員40人	定員40人	定員40人	定員40人
延べ利用日数	8,186	7,817	7,666	7,560人
開所日数	291	291	293	294
平均利用者数	28.1人	26.8人	26.1人	25.7人

3. 利用者居住状況（令和5年3月31日調べ）

	居住地別人数
施設入所	3人
グループホーム	21人
在宅	7人

4. 体験や実習生の受け入れ

	人数	学校名
現場実習	10名	小郡特別支援学校、太宰府特別支援学校 中原特別支援学校、平岡調理製菓専門学校 佐賀大学教育学部附属特別支援学校
職場体験	4名	基山中学校、田代中学校

5. 防災対策に関する取り組み状況

障害者支援施設天心園と連携を図り、避難訓練等の必要な防災訓練を年間計画に基づき実施した。

6. 利用者工賃支給状況

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
県平均工賃	14,215	13,673	14,691	
就労支援センター天心園 利用者平均工賃	22,783	10,062	8,447	

7. レクリエーション活動

新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

IV グループホーム天心園

グループホーム天心園では、小郡ホーム、横隈ホーム、祇園ホーム、原田ホーム、基山ホームの5つの共同生活住居で利用者サービスを実施した。

利用率では前年度を若干下回る結果となった。背景としては、70歳以上の高齢利用者の入所施設への移動や精神状態の悪化で入院したが改善が難しいなど、地域で生活することが困難な利用者が3名退所となっている。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、新規利用希望者の受け入れが困難な期間もあり、1名の新規利用者獲得に留まった。

65歳以上の利用者は原則として介護サービス優先とされてしまうので、さらに利用者が減る可能性がある。

各関係機関との連携では、日中サービス事業所との連携をはじめ、医療機関や相談支援事業所との連携も密にとっている。当法人の日中サービス（就労継続支援B型や生活介護）以外のA型事業所や一般企業で働く利用者については特に必要となる。

今後も引き続き利用者サービスの充実、新規利用者の受入れ確保及び利用定着の促進を図りたい。

1. サービス利用状況

		令和3年度	令和4年度
共同生活援助		定員 37 名	定員 37 名
	延べ利用者数	10864 人	10779 人
	開所（算定）日数	365 日	365 日
	利用率	80.4%	79.8%
	平均利用者数	29.7 人	29.5 人

2. 利用者の日中活動の状況（日中活動サービスの利用状況）

	利用者別人数（重複有）
一般就労	6 人
就労継続支援A型事業所	2 人
就労継続支援B型事業所	21 人
生活介護事業所	0 人
デイケア（精神科）	1 人

